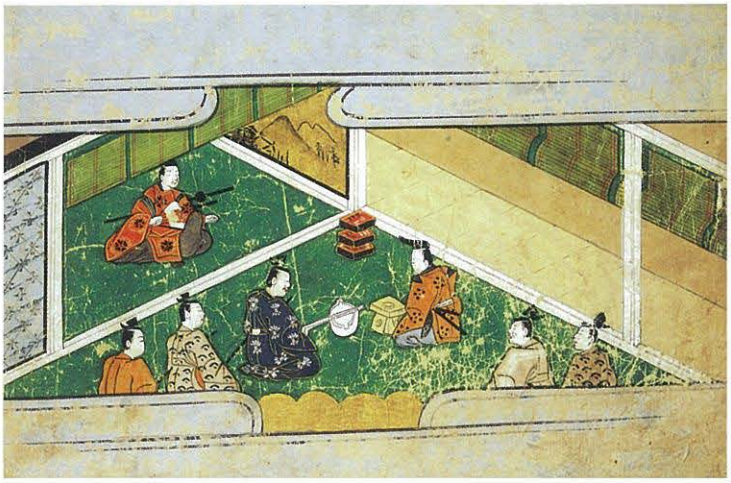
龍谷大学
図書館報
No. 15

来・ぶらり



《富士の人穴》龍谷大学図書館所蔵
着色絵本、一冊、御伽草子。
仁田四郎忠綱が富士山の洞窟にはいり、大菩薩の導きにより、地獄の六道廻りをするという地獄遍歴の物語。

読書館

比嘉 正範

私たちの言語生活では、「読」という字を使った熟語が多い。いくつか例を挙げると、読書、読者、多読、精読、読破、音読、黙読、濫読、購読、解読、回読、晴耕雨読、読図、読本、読み物、読み切り、読了、読後感などがある。しかし、蛍の光や窓の雪の明かりで本を読んだ人もいたかと思うと、本を積んでおくばかりで「積ん読」しかしない人もいる。外国からの訪問者は、満員の車内でも駅のホームでも本を読んでいる人が多いのに感心するようである。また、日本の旅客機には乗客用として新聞と雑誌が十分に用意されているのにも印象を受けるようである。

しかし、外国の大学関係者によると、日本の大学の図書館は比較的に利用者が少なくて「積ん読館」になっているという。外国とちがって、日本では自分の読みたい本は自分で買う習慣があるからだという苦しい弁解をしても、そんな経済的余裕はあるはずがないと反論される。元来読書好きであるはずの日本人に図書館を今以上に活用させる一つの方法は、積ん読館や蔵書館という印象を与える図書館という現在の名称を、本を読む所ということを強調して、「読書館」に変えることも一策ではないかと思う。また、そうすることによって蔵書数よりも利用者数を重視する「館」ができるのではないかと思う。

(国際文化学部長)

目次

読書館　国際文化学部長　比嘉　正範 …… 1
大宮図書館発　注目される古典籍等保存調査 …… 2
こんなに便利　日経テレコンの新聞記事検索 …… 4
図書館所蔵　CD-ROMタイトル一覧 …… 5
深草図書館の書庫増設にともない、学習用図書の配置がかわりました …… 6
２F参考図書コーナーも改装。
図書館と私　菰口　裕子(社会学部社会福祉学科) …… 7
図書館　大津　真(文学研究科真宗学専攻)

大宮図書館発

注目される古典籍等保存調査

＜概　　要＞

現在、大宮図書館には、およそ56万冊の蔵書があり、その中には多くの古典籍を含んでいる。中でも本願寺歴代宗主のコレクションである「寫字臺文庫」はその代表的な例であり、三万点に及ぶその古典籍は貴重なコレクションであるといえるが、さらにそのほかにも多くの古典籍を所蔵している。

ところが、これらの書物については仏教学、真宗学の分野においては比較的、研究が進んでいたが、その他の分野についてはその全貌が解明されていなかった。そこで平成６年度に「大宮図書館古典籍等保存調査委員会」を発足させ、平成７年度には、まず自然科学部門〔医学・化学・薬学(本草学)・天文学・数学・暦学等約1000点4000冊〕から本格的な調査が始まった。調査メンバーは山田慶兒国際日本文化研究センター教授他10名の学識経験者で、調査の結果、今まで解明されていなかった学術的価値の高いもの、本学所蔵のみと思われる非常に稀少価値の高いもの、など約40点の貴重書があることが判明した。

今後も未調査部分からさらに貴重書、稀覯書が発掘される可能性は充分あるといわれている。
これらの古典籍資料の本格的な判別を行うと共に、待ち望まれる「龍谷大学古典籍目録」及び「貴重書解題」の作成が現在、古典籍等保存調査委員会のワーキンググループメンバーと図書館員によって手がけられている。そして現在は国立民族学博物館の熊倉功夫教授他新たな学識経験者が加わり、芸能分野・哲学分野を調査中であり、新たな展開の可能性を秘めているといえる。

古典籍の目録作成と活用のための新たな試み

古典籍調査により、詳細な書誌データを作成し、まず自然科学分野の古典籍目録を作成する予定である。内容は漢籍、和書部分で分け、さらに写真や解題も掲載されるというものである。また同時にインターネット等に利用可能なデータも作成され、各種媒体を通じての検索が可能となるような試みとしてシステム作りに取り組まれている。

大宮図書館は学術文化に貢献する特色ある教育研究の場を提供するため、これらの古典籍を貴重なものとして、大切にしまい込むのではなく、資料保存の面も考慮しながら広く活用できるようにしていきたいと考えている。

世界的貴重資料を後世に伝えるための修復

自然科学分野における特に重要と思われる『玉機微義』10冊、『明醫雑著』４冊、『袖珍方』４冊等、119冊におよぶ貴重書、稀覯書について、虫食いや破損等の損傷がみられたので、これらについては、専門の修理技師により、ほぼ完全に近い形で修復を行った。さらに今後の損傷を防ぐため帙をも作成し、これらの資料を後世に伝えるに充分な修復を完了した。なお、今後の新たな調査に合わせ修復を継続していく予定である。

《自然科学部門の貴重書》

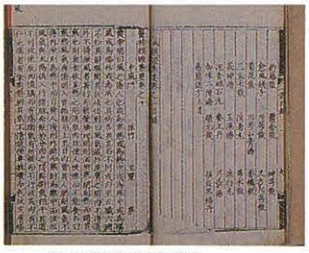
■『内経素問講義』九巻五冊
寫字臺本690.9-123-5（付六元正紀大論）
松岡玄達自筆本

■『明醫雜著』六巻
寫字臺本690.9-31-4（明）王綸著（明）薛己註
明・嘉靖三十年（1551）刊

■『醫方選要』十巻
寫字臺本690.9-246-6
（明）周文采編
（明）嘉靖二十四年
（1545）禮部刊

■『新刊袖珍方』四巻
寫字臺本690.9-44-4
〔明・李恆等編〕
（明）弘治五年（1492）
楊氏清江書堂重刊

■『医方分類』一巻一冊
寫字臺本690.9-88-1
〔北山友松子編〕
江戸中期頃写本



■『醫林類證集要』十巻
寫字臺本690.939-20
（明）王肇集
成化十八年（1482）
春德堂刊〔後刷〕

※写真は修復前のもの

「からくり儀右衛門」製作の「須彌山儀」も現在修復中

古典籍等保存調査の須彌山儀分野においては、「からくり儀右衛門」こと田中久重（東芝の創設者）製作の仏教宇宙観を表現した「須彌山儀」（龍谷大学大宮図書館所蔵）を現在、日本和時計学会と国宝修理技師の協力によって修復中である。修復後は「須彌山儀」が実際に動き出すようになるといわれている。平成９年には修復が完了する予定である。

右の写真はその解体調査を行ったときのものである。

こんなに便利!!
日経テレコンの新聞記事検索

レポート・論文等で本の他に新聞記事を利用した経験はないですか。「いつ頃の記事だったかな？」と悩んだ人も多いのではないでしょうか。たくさんの新聞や縮刷版を前に調べたい記事を探すのは苦労しますね。そんな時、頼りになるのが「日経テレコン」の新聞記事検索です。

●日経テレコンって？●

日経テレコンとは「ビジネスに直結した最新情報をすばやく収集できるオンライン情報サービス」のことです。日経テレコンでは雑誌記事検索やニュース速報など様々な項目があるのですが、ここではその中のひとつである新聞記事検索を紹介しましょう。

●新聞記事検索について●

新聞記事検索では、あなたは調べたい記事のキーワードを用意するだけ!!　短い時間で記事を検索し、見ることができます。また、日本経済新聞や朝日新聞などの一般紙をはじめ、日刊工業新聞・日本証券新聞などの専門紙の検索もできます。それに加えて、複数紙（最大10紙まで）を同時検索することも可能です。

短い時間で、多くの情報が得られる新聞記事検索。しかも操作は簡単!!　使ってみない手はないですね。

それでは、新聞記事検索に挑戦してみましょう。

●新聞記事検索に挑戦!!●

調べたい記事が決まったら、新聞記事検索に挑戦してみましょう。パソコンの操作はとても簡単です。「でもパソコンはちょっと…」という人でも心配御無用!!　図書館員が親切、丁寧に対応します。あなたはキーワードを用意するだけでかまいません。

さて、それでは実際に新聞記事検索をはじめて

1．海洋編（14）マングローブ林再生――保護・利用両立探る（地球の生態学）
　94/ 5/30　日本経済新聞　朝刊　　P17　　1779字　表写絵　FAX可
　NKS
2．エビづめキュウリあんかけ（家庭でつくる簡単薬膳：44）　　大阪
　96/ 7/ 3　朝日新聞　夕刊　　P 3　　880字　表写絵
　ASA
3．ＡＳＥＡＮが結束し反対へ　カメ保護でエビ禁輸
　96/ 4/13　朝日新聞　朝刊　　P13　　329字
　ASA
4．多彩な豊かさを求めて「地球人の世紀へ」（社説）
　96/ 1/ 8　朝日新聞　朝刊　　P 5　　2222字　表写絵
　ASA
5．ガラパゴスの自然紹介　府水産事務所の本尾さんが写真集出版　／京都
　95/12/14　朝日新聞　朝刊　　P 0　　949字　表写絵
　ASA
6．裁判権　衝突の艇長、起訴できず（米軍被害　地位協定のひずみ：中）
　95/11/11　朝日新聞　朝刊　　P38　　1595字　表写絵
　ASA
7．開発の権利　消える森林（ルポ・地球社会で　国連の課題：６）
　95/10/20　朝日新聞　朝刊　　P 8　　1815字　表写絵
　ASA
8．エビ好き日本見過ごせぬ　ＮＧＯが越でマングローブ植林　（大阪）

〈図１〉

みましょう。

キーワードは「森林破壊」と「エビ」を選びました。まず、「森林破壊」と入力します。「森林破壊」というキーワードを含んだ新聞記事の該当件数が表示されます。該当件数が少なければ、この段階で新聞の見出し及び記事を見ることができます。まだ該当件数が多い場合には、別のキーワードで絞り込んで下さい。ここでは「エビ」と入力します。ある程度新聞記事を絞り込んだ段階で見出しを出力します。(図１)

見たい記事の見出しが見つかったら、新聞記事を出力してみましょう。(図２)

１．海洋編（14）マングローブ林再生――保護・利用両立探る（地球の生態学）
94/ 5/30　日本経済新聞　朝刊　　Ｐ17　　1779字　　表写絵　　FAX可
NKS

熱帯の海辺の湿地に育ち、海と陸の生物が一緒に暮らす豊かな林、マングローブ林。その再生計画が動き出した。マングローブは炭や紙の原料となり、林を根こそぎ掘り返してエビの養殖池にすれば“お金のわく池”になる。

だが、林の破壊は生態系の破壊をもたらし、養殖池はすぐに荒廃して不毛になる。どうしたらマングローブ林を維持しながら、資源として利用していけるのか。熱い太陽の下で、地道な活動が続く。

世界のマングローブ林の総面積は九〇年時点で約千六百万ヘクタール。海岸地帯の開発が進むに従い縮少の一途をたどり、人類の手が加わる前の状態から比べると、ほぼ半分になった。ブラジルとならんでマングローブ林の豊かなインドネシアでは、八三年から八九年の七年間で三〇％減少したというデータもある。エビの養殖池やリゾート地、農地、石油プラントなど工業用地への転換、ＯＡ機器用紙などに使うチップ供給のための大規模伐採が原因とみられる。

そのインドネシアのバリ島。日本から多くの観光客が押し寄せる美しいリゾート地から少し離れた州都デンパサール市郊外の海岸沿いは、どんより濁った無数の池で埋め尽くされている。エビの養殖で荒廃し、何物も生み出さなくなった死の池だ。池の底にはエビのエサやふんなどがヘドロとなって厚く積もっている。もとは一面のマングローブ林だったが、どんどん養殖池に変わり、林は海岸線の一部に残るだけだ。

昨年末、この池に「マングローブプロジェクトセンター」が完成した。国際協力事業

〈ＣＲ〉：次ページ / 番号：本文 / 〈：〉：出力中止

〈図２〉

●最後に…●

日経テレコンの新聞記事検索は大宮・深草・瀬田図書館で利用することができます。日経テレコンの新聞記事検索への接続及び検索は図書館員が代行します。

日経テレコンの新聞記事検索を利用する際には、キーワードを用意して下さい。1985年の記事から最新の記事まで、短時間でしかもたくさんの新聞記事をみることができます。

日経テレコンの新聞記事検索では記事のみが出力され、写真やグラフ等は表示されません。新聞や縮刷版とを併せて利用するとより効果的です。

レポート、論文等で新聞記事を見る際に利用してみてはいかがですか。

みなさんの御利用お待ちしております。

＜参考文献＞
「文献を探すための本」斉藤　孝［他］著
日本エディタースクール
「日経テレコンＢＩＺ操作例」

図書館所蔵 CD-ROMタイトル一覧

最近は多くの参考図書や目録、新聞記事、判例集などがCD-ROMの形で刊行され、本ではできなかったような自由な検索が可能となり、便利なツールとなっています。
本学図書館が所蔵しているタイトルの主なものをここにご紹介します。

深草図書館

●日本経済新聞：日経全文記事データベース　'90～95●朝日新聞記事データベース：CD-HIASK　'93～95

●内外会社史・団体史総合目録

●法律判例文献情報●リーガルベース(全文)●リーガルベース(要旨)

●日本語研究文献目録：雑誌編●日本語実践(CD-ROM)●八代集：新古典文学大系

●岩波仏教辞典●浄土真宗聖典

●Agricultural statistics　米国農業統計●ASSIA: Applied Social Science Index and Abstracts　応用社会科学雑誌論文索引・抄録●Cumulative Book Index　英文書籍累積索引●Silver Platter ECODISK　エコロジー・データベース●Silver Platter ECONLIT　経済学文献抄録●Silver Platter E-CD　環境問題データベース●Silver Platter GPO　米国政府刊行物目録●Silver Platter PAIS　国際的な雑誌、書籍、ディレクトリー、報告書、政府文献の記事●Silver Platter POPLINE　人口問題文献の抄録と引用●Silver Platter SOCIOFILE　社会学文献抄録●International Statistical Yearbook　国際経済統計データベース●International Financial Statistics　IMF国際金融財政統計●Keesing's Record of World Events　世界各国の出来事、世界情勢、著名人経歴、世界的規模の組織・団体のプロフィール●National Economic, Social and Environmental Date Bank　米国商務省の経済・社会・環境等の資料●Nietzsche Werke　ニーチェ全集●SPORT Discus　スポーツ・レジャー関係データベース●Statistical Yearbook　国連統計年鑑●The Wall Street Journal　ウォール・ストリート・ジャーナル●UK Corporations CD　英国企業の年次報告書、財務表のフルテキスト

大宮図書館

●浄土真宗聖典●大正大蔵経一釈経論部・法華部・中観部・琥伽部●新潮文学倶楽部(マルチメディア文学辞典)●新編国歌大観●八代集：新古典文学大系●禅ベース

瀬田図書館

●岩波国語辞典 第5版●新英和中辞典 第6版●新和英中辞典 第4版●電子広辞典 第4版●辞・典・盤

●経済新語辞典●日本経済入門

●法律判例文献情報

●新潮文庫の100冊

●理科年表

深草図書館本館（７号館）配架図書一覧

深草図書館の書庫増設にともない、学習用図書の配置がかわりました。２Ｆ参考図書コーナーも改装。

本　館　書　庫

5層	立入禁止	
4層	学生用開架スペース	請求記号
	・歴史	（２００～２９９）
	・自然科学	（４００～４９９）
	・技術	（５００～５９９）
	・産業	（６００～６９９）
	・芸術	（７００～７９９）
	・言語	（８００～８９９）
	・文学	（９００～９９９）
3層	学生用開架スペース	請求記号
	・総記	（０００～０９９）
	花岡文庫	（０９５．６１）
	・哲学・仏教	（１００～１９９）
	・社会福祉・教育	（３６７～３９９）
2層	学生用開架スペース	請求記号
	・社会科学総記	（３００～３０９）
	・政治	（３１０～３１９）
	・法律	（３２０～３２９）
	・経済	（３３０～３３９）
	・財政	（３４０～３４９）
	・統計	（３５０～３５９）
	・社会	（３６０～３６６）
1層		請求記号
	新聞縮刷バックナンバー	（０７＊）
	福田文庫	（０９５．３）
	長谷部文庫	（０９５．４）
	福田（徹）文庫	（０９５．５）
	芳恵文庫	（０９７．２）
	豊崎文庫	（０９７．４）
	山田（盛）文庫	（０９５．６）
	官報	（３１７）
	マイクロフィルム	（０９９．０＊）
	マイクロフィシュ	（０９９．１＊）

請求記号の一番上の数字（分類番号）です。

本館閲覧スペース

2階	参考図書	
	辞書・辞典・現代用語の基礎知識・イミダスなど	
	新聞縮刷版	
	年鑑・白書・統計	
	判例・法令	
	資格試験コーナー	
1階		請求記号
	文庫・新書	（０８１）
	点字資料	（０９９．８）
	目録・書誌	（０２５～０２９）
	指定図書・学習用推薦図書・新着図書	
	イヤーブック	
	卒論要旨集	
	洋書コーナー	
視聴覚室	視聴覚資料	請求記号
		（０９９．＊）

備考）　開架　自由に利用することが出来ます。
　　閉架　一般学生は入ることが出来ません。

視聴覚室　1階カウンターで手続後、利用することが出来ます。

図書館と私

菰口　裕子

社会福祉学科３回生の私にとって、図書館を利用することは今や教室へ行くことよりも自然なこととなっている。それは３回生になってから図書館でアルバイトをするようになったからでもあるし、週に３コマもゼミがあり、そのひとつひとつが特別な課題を私に与えるからである。そのせいか友人を図書館で見ない日はない。そして図書館で会う友人の顔ぶれを見ただけでその週のゼミ発表担当者がわかってしまうようになり便利でもある。また私が図書館を頻繁に利用するようになった理由はもうひとつある。それはアルバイトがきっかけで視覚障害者の学生さんの対面朗読を手伝うことになり、図書館内の学習室を定期的に利用するようになったからである。その学生さんは以前からの知人であったが、対面朗読となると上手くできるかどうか心配だった。私がその人に必要な文献を読んでテープに吹き込むのだが、どもってしまったり、はりきりすぎて大声で読んでしまい、たまたま隣りの学習室を利用していた友人が館内アナウンスと間違えて驚いてしまったなど恥ずかしい失敗も沢山した。

そんな対面朗読も始めて半年余り。最初よりも上手になったと言ってもらえるまでになった。そして何よりも文献を読み、視覚障害を持つ学生さんと接することで私にとっても特別な学習時間となっている。

このように貴重な体験をさせてもらうためにまた図書館へ通う。私にとって図書館は素敵な人生経験の場なのだ。　　（社会学部　社会福祉学科）

『図書館』

大津　　真

いろんな場所には、知る人ぞ知る有名人というような人がいるものであるが、そんな図書館の有名人の一人にＡさんという人がいた。彼はどういったわけか図書館員に対しては妙にぶあいそでぶっきらぼうであった。いつも夕方ごろ図書館へやってきて、閉館時間まで図書館で時を過ごしていた。書庫より五・六冊の難しそうな本を引っ張り出し、時には思索にふけっているようであったが、はた目には寝ていることのほうが多く、閉館時間になって起こしにゆくこともしばしばあった。そんな彼であったから、図書館で好かれるというようなことはなかったが、どこか気になる憎めない存在であった。

図書は「自己の欲する時に自己の欲する書物を各個に自由に選択」し読むことができる。それに見合う形で図書館は自由によって開かれている場所である。有名人の彼が図書館に求めたものは定かではないが、彼は彼なりに自由な空間で自由な時を過ごしていたのである。

私が図書の正確な利用法を覚えたのは、修士の三年になってからで、それも終了年次に論文が書けず、図書館に身をひたしたら何とかなるだろうとアルバイトを始めたのがきっかけであった。図書の利用は意外と簡単で、資料なども慣れれば楽に沢山引き出せるのである。図書館に行けばたいていのことは何とかなるというのも間違いではないように思うのだがどうであろうか。「たまごをわればオムレツは作れる」のである。勿論、多少の責任と、面白い本や人・思想とのであいがあれば幸いである。　　（文学研究科　真宗学専攻）

龍谷大学図書館報『来（らい）・ぶらり』第15号
1997年　1月発行
編集・発行　龍谷大学図書館
〒612 京都市伏見区深草塚本町67
☎075-642-1111（大代）